

玉城わかば学園 キャリア教育プログラム

【目指す学校像】 自立をめざし、子どもたち一人ひとりが輝く玉城わかば学園

【学校教育目標】 よく学び、よく遊び、いきいきと生活しよう。
すすんで社会に参加する人になろう。

【キャリア教育の目的】 生活段階や発達段階に応じて求められる役割を主体的に果たそうとする意欲や具体的な力を身につけ、自立と社会参画、豊かな生活の実現を図る。

令和6年4月5日 改訂

能力領域	観点	I (小学部低学年)	II (小学部高学年)	III (中学部)	IV (高等部)	V (高等部)
人間関係形成能力	人とのかかわり	支援者や友だちを意識する	支援者と一緒に友だちとかかわる	友だちと協力して学習や活動に取り組む	クラスや学年の仲間と協力して学習や活動をする	誰とでも協力して学習や活動をする
	自己理解・他者理解			自分の得意なこと、苦手なことがわかる	自分の活動を振り返り、うまくできたかできなかったかを判断する 相手の気持ちや考えを理解する	自分の活動を振り返り、他者からの指摘を理解する 他者の考えや個性を尊重する
	集団参加	支援者や友だちと一緒に特定の集団の場で落ち着いて過ごす	支援者や友だちと一緒に集団の場で落ち着いて過ごす	支援者や友だちと一緒に集団の場で落ち着いて活動する	友だちと一緒に集団の場で楽しんで活動する	場の状況や相手の気持ちを考えて集団活動する
	協力・共同	支援者と一緒に友だちと同じ学習や活動に参加する	支援者や友だちと一緒に学習や活動をする 支援者とともに、自分の係や当番に取り組む	友だちと一緒に学習や活動をする 自分の役割を知り、自分で取り組む	自分の役割を知り、自分から取り組む	自分の役割を自覚して、責任をもって活動する
	意思表示	自分の要求を自分なりの方法で身近な人に伝える	自分の思いを相手に伝える	小集団の中で、自分の思いを伝える	集団の中で自分の思いや意見を表現しようとする	集団の中で自分の思いや意見を適切に表現する
	あいさつ・場に応じた言動	支援を受けて自分なりのあいさつや返事をする	身近な人にあいさつや返事をする	身近な人に自分からあいさつする 場に応じた適切な行動をする	自分から誰にでもあいさつをする 場に応じた適切な行動がわかる	状況に応じた適切なあいさつをする 様々な表現を知り、場に応じた適切な言動をする
	清潔・身だしなみ	支援を受けて手洗いをする 着替えの手順を知る	少ない支援で手洗いをする 着替えの手順や片付けを覚える	清潔・身だしなみを意識する	清潔を意識して身だしなみを整える	TPOに応じた清潔な身だしなみをする
情報活用能力	見通し	支援を受けながら1日の大まかな日課を知り生活する	支援を受けながら1日の日課を理解して活動する	日課の変更を理解し行動する	日課を理解し、時間いっぱい集中して活動に取り組む	予定と時間にあわせて、準備、計画、行動をする
	きまり (きまり・法や制度)	日常生活上の簡単な決まりに気づき、守ろうとする	日常生活上の簡単な決まりを知り、守る	社会にはいろいろな決まりがあることを知り、守ろうとする	社会生活の基本的なルールを守る	社会人としての身近な決まりやマナーを知り、守る
	社会資源の活用	支援者と一緒に買い物をする楽しさを体験する	支援者と一緒に公共施設に行ったり、店での買い物を体験したりする	公共施設や交通機関、商店などを実際に利用する	福祉・支援センター等、相談できる機関があることを知る	福祉・支援センターやハローワーク等、相談できる機関を知り、活用しようとする
	金銭の扱い方	買い物をして、お金でものが買えることを知る	お金でものを買うことを体験する	決められた予算内で支援を受けて買い物をする	決められた予算内で買い物をする	お金を計画的に使う
	交通	いろいろな乗り物があることがわかる	支援者と一緒に公共交通機関を利用する経験を積む	支援者と一緒に安全に気を付けて公共交通機関を利用する	マナーを守り身近な公共交通機関を利用する	目的地までの交通手段を調べ公共交通機関を利用する
	役割	支援者と一緒に簡単な仕事をする	割りあてられた仕事があることがわかる	係活動や当番活動がわかり、取り組む	所属する集団で自分の役割を果たす	所属する集団で、自分の立場を自覚して、自分の役割を果たす
	はたらくよろこび		支援者と一緒に仕事をする中で喜びを感じる	生活の中で役割を果たし、認められることで役に立つ喜びを感じる	所属する集団で自分の役割を果たし、認められることで、役に立つ喜びを知る	将来自分が働いたことに対して、報酬(お金)を得ることがわかる
将来設計能力	健康な体	いろいろな活動を通して元気に体を使う	たくさん体を動かして楽しみながら体力をつける	いろいろな運動に取り組み、基礎体力をつける	継続して活動できる体力をつける	継続して働くことに必要な体力をつける
	習慣形成	家庭や学校生活に必要な基礎的な習慣をつくる	家庭や学校生活に必要な基礎的な習慣をつくる	身の回りのことで、できることを増やす	身の回りのことを自分でする	時間や健康等に留意して、身の回りのことを自分でする
	夢や希望	いろいろな活動を経験し、好きな活動を見つける	好きな活動に十分時間をかけて取り組む	好きなこと、したいことを増やす	将来の生活を考え、やりたいことを見つける	将来の生活を考え、実現に向けて努力する
	やりがい			好きな活動を思う存分楽しむ	自分に合った仕事や趣味を見つける	仕事に意欲的に取り組み、趣味を充実させる
	進路計画			身近に働く人の姿を見ることや作業学習を通して仕事への意欲関心を高める	作業学習や体験を通じて自分の適性を知り、進路選択に生かす	選択した進路の実現に向けて、課題に取り組む
余暇の利用			興味をもちいろいろなことに取り組む	自分の好きなことを見つけ楽しむ	趣味を充実させ、休日を過ごす	
意思決定能力	目標設定	支援者と簡単な目標を確認して楽しみながら取り組む	支援者と目標を確認して最後まで取り組む	支援者と一緒に目標を決めて、最後まで活動に取り組む	自分の課題を知り、支援者とともに目標を立て責任を持って取り組む	自分の課題がわかり、目標を立て、主体的に取り組む
	自己選択	選択肢から支援者とともに、自分の好きなものを選択する	選択肢から自分の好きなものを選択する	選択肢から自分の好きな遊びや活動を進んで選択する	選択肢から、自分にとって必要なものを選ぶ	選択肢の内容を理解して自分で決めることができる
	ふり返り・自己評価	活動後に、がんばったこと、楽しかったこと等をふり返る	活動後のふり返りで、よかったことや反省点に気づく	活動後にふり返り、よかったことや反省点を考え、次の活動に生かす	活動後にふり返り、よかったこと、反省点を考え、肯定的に自己評価し次の活動に生かす	活動をふり返り、よかったこと、反省点を考え、客観的・肯定的に自己評価し、次の活動に生かす
	自己調整	簡単な指示を受け入れることができる 情緒不安定時に、支援を受けて、落ち着ける方法や環境を知る	指示を受け入れることができる 情緒不安定時に、支援を受けて、落ち着く	情緒不安定時に支援者に気持ちを伝えて支援を受けて落ち着く	支援を受けて悩んだり困ったりした時に気持ちを整える	悩んだり困ったりした時に、支援を受けて気持ちを整え適切な行動がとれる